

快光院だより

令和7年春彼岸 第132号

浄土宗
Jodo Shu
Buddhist Denomination

○春期彼岸法要のご案内

3月20日(木) 午後1時半より彼岸法要

午後2時より法話

3月21日(金) 午後1時より法話

※21日の彼岸法要の勤行はありません。

布教師

総本山知恩院布教師

滋賀教区 阿彌陀寺 御住職

稗貫光遠上人

○大施餓鬼法要のご案内

3月21日(金) 午後2時半頃より

阿難尊者の延命転寿の説話にもとづいて、一切の餓鬼に飲食を施し先亡追善回向を致します。

※お申し込みは前日までをお願いいたします。

※お申し込みをお電話でも承ります。

ぜひ一緒にお勤めいたしましょう。

至心称名 南無阿弥陀仏

新年も2月後半とはいえ第一級寒波が度々押し寄せ北国、雪国を中心に大量の降雪被害に困惑されています。皆様如何お過ごしでしょうか。先日、丹後のお寺さんから手紙を頂き、さぞお困りのことかと思ったら此の冬は何故か少なく立春過ぎから多くなってきたとのこと。昭和50年代の丹後滞在中、庫裡屋根の雪下ろしを少々でも経験出来たものの、この季節の雪国の人々のご苦勞を一言で言い表せるものではありませんが本当に大変な事だと思いました。この地方の中でも特に積雪量の多い所は皆様ご覧のテレビ放送の様子と同じです。当時土地の人から聞いた話では積雪5cm位をチェーン付けて走っていると見ている人がクスクス笑うそうです。土地の人は慣れていて普通タイヤかスノータイヤでそれ以上はチェーンで寒冷地はスパイク付きもありました。普通タイヤで平気な人を何度も見かけました。勿論これは当時のことで危ないので真似したらいけません。冬は辛いことばかりではなく楽しい面もあります。

小学4年生になると体育授業にスキーを取り入れるため用具を所持します。それで皆さんスキー達者が多く、地元にも小規模のゲレンデがありますが物足りず、車でわりと近くの但馬地区の^{かなべ}神鍋高原、そこから西へ続く鳥取県境エリアの^{はちぶせ}鉢伏高原、^{ひょうのせん}氷ノ山には著名なスキー場が数多く点在し魅力的です。人次第ではまだ物足りず信越の本場、また雪質の良い北海道までも行くそうです。あの冒険家の故植村直己さんも但馬の出身です。私は近所の子供たちと近くの小さな丘の上から一人用のプラスチック製ソリで滑っていました。夏も魅力的で日本海は美しく透き通り眺めているだけでも癒やされます。私は海水浴場の多い若狭湾内の^{くんだ}栗田湾から舞鶴市隣の高浜(福井県)などの海岸へ何度か出かけました。

この冬皆様ご健康如何でしたか。長年風邪なしの私は軽いインフルエンザでしたがお陰で楽になり週二回のリハビリ、家での自分なりの運動で過ごしています。2月24日、朝から何気なく大坂マラソンをテレビ観戦中ビッグニュースが入り島原出身で三菱重工長崎所属そして当寺お檀家ご子息の近藤亮太選手

が初マラソン乍ら僅か2秒差で優勝を逃したものの2時間5分39秒、全体2位の日本人1位、しかも日本最高記録の好成績でした。心より祝福を献げ今後益々の御健闘を期待いたします。3月12日は去る6月に就任された大本山善導寺の日下部匡信^{だいか}台下（平戸市出身）の晋山式が執行されます。門前へのお練

り行列など賑わうことでしょう。御縁を頂き御親教で島原へお迎え出来ること願っております。これから花粉症、新型コロナ、ノロウイルス、諸感染症など要注意で皆様日々のお暮らし、お体お大事になさってください。

令和七年三月 快光院住職 永野寶信

釈尊のことば

「一つの岩の塊(かたまり)が風に揺るがないように、賢者は非難と賞賛とに動じない。」
(ダンマパダ)

これは、固い岩のかたまりが風に揺るがないように、賢者は悪口にも褒め言葉にも動じない、という意味です。悪口をいわれると感情的になったり、褒められると自惚れてしまうことがよくありますが、徳の高い立派な人は悪口を言われても感情的ならず、褒められても調子に乗ることがないというお釈迦様の言葉です。自分の心に負けて攻撃的にならず、慢心に気をつけた生活を心がけたいと思います。

ありがとうは相手が生きてるうちに 永野至信

亡きご主人の御法事が終わり、ある奥様とお話した時のことです。その奥様から「主人が入院してあっという間に逝ったもんだから、何も言えないままでそれがとても心残りなんです。今ならありがとう」と伝えることができますが、その時は気が動転していましたし、まさか急に逝くとも思っていませんでしたからね。普段一緒にいるときも”ありがとう”と言えてなかったのも、伝える機会を逃しました」と伺いました。

知り合いであったり社会的に接する人に感謝を伝えることは意外と難しくない感覚が私にはありますが、生活を共にしてきた家族に面と向かって”ありがとう”と今までの感謝の気持ちを伝えるとなると、何だか気恥ずかしくなります。海外ドラマでよく相手に感謝したり愛情表現したりするのをみると、日本人とは性格が全然違うなと思います。

しかし、その方のお話を聞いて改めて感謝を伝えたくても伝えられないでいるのは非常にもったいないことだと思いましたし、感謝を伝えることは相手のためというよりは自分のためであるのだと思いました。「善は急げ」といいますが「感謝も急げ」と教わりました。

お寺行事

- 3月20～21日 当寺彼岸法要・大施餓鬼会
- 4月25日 当寺別時念仏会(午後2時より)
- 5月18日 当寺観音講(午後2時より)

浄土宗 演暢山 快光院
〒855-0851
長崎県島原市萩原1丁目1227番地
電話：0957-62-2742
Fax：0957-64-6624
Mail：kaikoin.temple@gmail.com
郵便振替：01770-4-92594